

1号議案 一般会会計補正予算 賛成の立場で討論します。

① 定期巡回・臨時対応型訪問介護看護サービス支援事業補助金について

介護が必要となった高齢者に対して、日中・夜間を通じて、介護士と看護師が連携しながら定期的に利用者宅を巡回したり、利用者からの要望により随時訪問して、介護や看護のサービスを提供する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」事業所の運営支援する補正予算ですが、現在5事業者がこの事業を行っています。

第6期介護保険事業計画では各ブロック圏域に1箇所以上設置することになっていますが東部圏域が整備となっています。定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは、地域包括ケアシステム構築にとって必要不可欠なサービスであり、すべての日常生活圏域に事業所がすみやかに整備されることを求めています。

② 介護予防・日常生活支援総合事業に関して

介護保険法改正により、要支援者認定向けの訪問介護やデイサービス、ケアプラン作成の予防給付サービスが、自治体が行う地域支援事業に移行されますが、これによって要支援者がこれまでの予防給付サービスの提供を受けられなくなるとか、サービスの質が低下するのではないかと心配をする方がいますが、実際そのようなことが起こらないように特にケアマネジャーの要支援者の訪問など、万全の施策を講じることを要望します。

また、総合事業を実施する際、国や県の交付金対象となる事業費の上限額が設けられていますが、実際の事業費がこの上限額を超えるような場合、それが介護保険料の値上げにならないようにすべきであると申し上げておきます。

③ 北部清掃工場建設費の補正について

インフレスライド条項の適用による増額補正ですが、労務単価の上昇が2重、3重の下請け労働者まで行き届くよう、賃金台帳の確認など実行ある対策を講じるべきだということを改めて申し上げておきます。

④ 体育館・武道館の天井等落下防止対策工事について

東日本大震災時において、体育館などの天井が脱落する被害があったことから、本市においても3カ年計画で、学校体育館や武道館の天井等の落下防止工事を行うものです。

子どもの命にかかわる問題ですので優先的に行うのは当然としても、老朽化が激しい校舎の改修やトイレの洋式化などもっと積極的に予算をつけて取り組むよう要望します。

⑤債務負担行為小学校給食調理業務委託料について

小学校給食調理業務委託については、食の安全の確保の観点や調理員の非正規が進むことなどから問題点を指摘してきました。

しかし、市は食の安全については委託・直営に関わらず、各学校に配置された栄養士が食材の選定や発注を責任をもって行っていること。国産品を優先し、添加物のないもの、遺伝子組み換え食品は可能なかぎり使用しないこと。加熱処理や消毒など適切な衛生管理を行うなど食の安全確保については委託・直営を問わず給食を調理に携わる従事者全員が共有しているとの答弁が本会議の質疑でありました。

また、船橋産食材の使用については、食材の発注を行う段階で船橋産・千葉県産・国産の順で優先することを心がけている。また、各学校では毎月1回以上「船橋産の旬の食材を食べて知る日」を設けて、農産物や季節の水産物を給食の献立に取り入れているなどとの答弁もありました。

さらに、調理員の待遇改善については、近隣の学校をまとめて一つの事業者へ委託し、複数年の契約を結ぶことにより、応援体制の確保や安定的な雇用が見込めるため、調理員にとっても働きやすさが増すことになるとの答弁がありました。

これからも食の安全確保、船橋産の食材使用、調理員の待遇改善について、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

2号議案 小型自動車競争事業特別会計補正予算 賛成の立場で

オートレース事業については、過去に市の財政に多大な貢献をしていただいた選手会や関係者の皆さん、そしてオートレースを愛するファンの方には大変申し訳ありませんが、私たちはかねてから、公営ギャンブルは止めるべきだという立場で本事業の廃止を主張してきましたので、基本的に市や県の廃止の方針を支持するものです。

廃止に当たっては、選手会や関係者への十分な説明や、必要によっては税金を投入してでも補償すべきだと主張してきました。

本事業廃止に向けた選手会との話し合いや、従業員の再雇用対策について万全を期すよう改めて要望します。

3号議案 船橋駅南口市街地再開発事業特別会計補正予算 賛成の立場で

補正金額は300万円ですが、中身は消費税の納税見積もりの不足額が約2千万円、反対に再開発事業債借り換えの利子見積もりの違いによる不要額が11,919,086円、会計内部の流用が5,056,300円で差し引き300万を補正するというものです。

こんなずさんな予算の見積もりをしているということは、市全体の予算編成の信頼性を損なうものです。今後はこのようなことがないようにしっかりとした予算見積もりを行うことを強く求めておきます。